

1 / 2 4 校長室より No.157

今日の朝会は、進路激励会。私からは、次のような言葉で激励しました。

私立高校の入試までいよいよ一週間と迫ってきました。公立高校入試の3月7日までは42日、ちょうど6週間後です。皆さんの中には不安と緊張を抱えている人がいるかもしれません。そんな皆さんに、スイスの作家で、ノーベル文学賞も受賞したヘルマン・ヘッセの言葉を贈ります。



「鳥は卵から抜け出ようと戦う。卵は世界だ。生まれようと欲するものは、一つの世界を破壊しなければならない。」

皆さんは、3月に中学校を卒業し新しい世界に飛び立っていきます。義務教育の期間、皆さんは卵の殻の中のよう、ある意味守られて育ってきました。しかし、中学校を卒業すれば、一人一人の進路は違ってきます。3年生57人はすべて高校進学希望です。だから、高校入試というのは、ちょうど自分の力で卵の殻を破るのと同じだと言えます。大変でしょうが、外の世界に出るためには通らなければならない道なのです。有り難いことに、皆さんは一人ではありません。励まし合える友達がいて、支えてくれる家族がいて、こうして応援してくれる後輩がいます。目標から目をそらさず、正面から誠実に、そして精一杯の力で挑んでください。

1・2年生の皆さん、心のこもったメッセージ、背中を押す迫力のある応援、ありがとうございます。きっと3年生も今日の激励会で力を得て入試に向かうことができると思います。新執行部、新委員

長、学年自治会長の皆さん、企画・運営ご苦労様でした。

それでは、3年生一人一人が、持てる力を発揮して新しい世界に飛び立つための殻を見事に破り、希望の道に進んでいくことを願ってあいさつとします。

〈新会長から激励の言葉〉



〈三年代表からお礼の言葉〉



〈激励の干ルと応援歌〉



〈合格祈願絵馬の贈呈〉

